

第51回ベルリン国際映画祭正式出品 / 第3回ドーヴィル・アジア映画祭最優秀イメージ賞受賞 / 第27回シアトル国際映画祭正式出品

監督・脚本・原案・音楽 **辻 仁成**

武田真治

大浦龍宇一・yuma

城 尚輝・津田寛治・不二子

根岸季衣・千石規子・井川比佐志

製作=ソニー・ミュージックエンタテインメント、フジテレビジョン  
ケイエスエス、ソニーPCL、JINSEI FILM SYNDICATE

企画=JINSEI FILM SYNDICATE / 企画・プロデュース=佐谷秀美  
プロデューサー=原岡賢一郎、臼井裕詞、服巻泰三、平井健一郎、鳥澤 晋

撮影=高井孝洋 / 照明=石田健司 / 録音=橋本泰夫

美術=種田陽平 / 編集=掛須秀一 / a Suplex Inc.production

配給=ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

協力=函館市、JAL日本航空

人は僕のことを「ホトケ」と呼ぶ。  
まだ、一度も怒ったことがない。

ほ  
と  
け

第51回ベルリン国際映画祭正式出品  
第3回ドーヴィル・アジア映画祭最優秀イマージュ賞受賞  
第27回シアトル国際映画祭正式出品

# ほとけ

古い港町、臥牛(がぎゅう)市。道端で鉄屑を拾い、花の種を蒔く青年ライ。彼は密かに巨大な仏像を作っている。そんなライが初めて愛したのは盲目の少女ユマ。そのユマは強く逞しいライの兄シバを慕っている。しかしシバは二人の想いをもて遊ぶばかり。感情を知らないライは“愛する”ことが分からない。「どうしたら愛し合える…?」届かぬ想いを込めるように鉄仏を作るライ。ユマの瞳に光が戻っているのを知った時、ライのなかで何かが変化していった…。

「創作の中心は“詩”。詩が長くなったのが“小説”で、音楽がつくと“ロック”。“映画”はその要素がすべて詰まっている立体的な世界」と語る辻仁成にとって映画とは、“宇宙を創るような”愛してやまない表現手段。そんな辻が故郷・函館を舞台に撮り上げた最新作が『ほとけ』だ。若者たちの行き場のない愛と孤独、生と死、暴力、コミュニケーションの不全…辻が追求してきたテーマを細やかな演出で描いた本作は、ベルリン国際映画祭で上映され世界中の共感を呼んだ。そして映像の美しさは、フランスのドーヴィル・アジア映画祭で最優秀イマージュ賞を受賞。特にノスタルジックな街並みに佇む“船員会館”とライが作る“巨大な鉄仏”は、見応えありのオリジナリティー溢れたオブジェ。

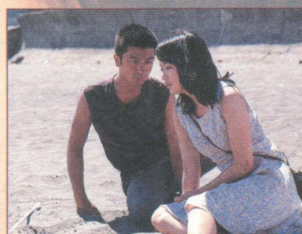
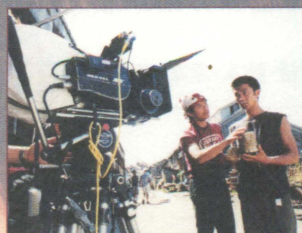
主人公ライを演じるのは、『御法度』で沖田総司役を清々しく演じた武田真治。その兄でワイルドなシバを大浦龍宇一が演じ、新境地を開拓。シバを慕う盲目の少女ユマをyuma。挿入歌で歌声も披露している。その他、シバの彼女モエを映画初出演となる不二子、シバの子分・真蔵にサントリー・BOS SのCMでも活躍している津田寛治、シバのライバル・ムジには城尚輝など、フレッシュで個性的なキャスティング。そして井川比佐志、根岸季衣、千石規子といった芸達者たちが脇を固める。若手実力派とベテランの競演が衝撃のラストシーンへとドラマを盛り立てている。

2001年 / 113分 / 35mm / カラー / ビスタ / DIS STEREO

愛しても、愛されない。

愛されても、愛さない。

すれ違い、決して重ならない三つの愛。



2001年8月ロードショー!!

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中! (当日一般¥1,800)

●当劇場及び、チケットが、都内各主要プレイガイドにてお求め下さい ●劇場窓口でお買い求めの方にオリジナル・ポストカードをプレゼント ●上映時間は劇場にお問い合わせ下さい

シネマスクエア  
とうきゅう

新宿 TOKYU MILANOビル 3F TEL.03-3202-1189  
お座席のご飲食はお断りしております。場内ロビーにてお召し上がりください。

